

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (P) (2単位)	3. 科目番号	PSMP3484
2. 授業担当教員	三野 宏治		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導Ⅱは、ソーシャルワーク基礎実習に向けての具体的な準備、事後学習、精神保健福祉援助実習第一段階の準備を行い、終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 実習コンピテンステストを実施し、実習に必要な基礎的知識の定着を図る。</li> <li>2) 実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。</li> <li>3) 事前訪問を実施し、実習生、授業担当教員、実習指導者(スーパーバイザー)との協議を踏まえた実習計画を完成させる。</li> <li>4) 相談援助技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。</li> <li>5) 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。</li> <li>6) スーパービジョンについて理解し、適切なスーパービジョンを受ける準備をする。</li> <li>7) 記録の意義について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。</li> <li>8) 実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。</li> <li>9) 実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。</li> </ol>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。</li> <li>② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。</li> <li>③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。</li> <li>④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。</li> <li>⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</li> </ol>		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について具体的な提出物等の指示を出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習コンピテンス確認テスト(2)の実施(合格点に達するまで実施)</li> <li>2. 実習施設・機関の概要を調べレポートにまとめる(2000字～4000字)</li> <li>3. 実習施設の概要、実習プログラム案の作成</li> <li>4. 施設実習振り返り、実習総括レポート(実習報告書)の作成</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『新版精神保健福祉士養成セミナー 第8巻 第6版 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2017。 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 実習の手引き』※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p><b>【参考書】</b> 精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2019年版』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習に向けて必要になる事前知識が身についている。</li> <li>2. 実習に必要な書類の準備ができる。</li> <li>3. 実習事後に実習での学びを言語化できる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習コンピテンス確認テスト 20%</li> <li>2. 実習に伴う提出物 30%</li> <li>3. 実習事後の振り返りのための課題 20%</li> <li>4. 授業への積極的参加態度 30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	この授業は実習に直結している。この授業期間中に、初めて実習に行き、次の段階の実習に備えます。実習及び資格取得に対する動機を高め、より充実した実習体験を持てるよう、積極的な授業参加態度を期待する。		
13. オフィスアワー	後日通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健福祉援助実習指導Ⅰの振り返りと確認</li> <li>・精神保健福祉援助実習指導Ⅱの講義内容、進め方の説明</li> <li>：実習までの流れの確認</li> </ul>	事前学習	精神保健福祉援助実習指導Ⅰで学んだことを振り返る
		事後学習	実習に向けての自己の課題を書き出す
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習先の配属</li> <li>：配属先施設に関する情報収集</li> <li>：誓約書・個人調書等書類作成の意味の理解と作成</li> <li>※第2回、第7回において、可能な場合は、外部講師を招いての授業を実施し、実習先の理解についてまたスーパービジョンについて理解を深める</li> </ul>	事前学習	格取得動機、実習抱負の下書きを作成する
		事後学習	個人調書下書きを完成させる
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人調書の完成</li> <li>：下書きを持参し、清書を作成する</li> <li>・配属先施設に関する理解を深める</li> <li>・配属先施設・機関の概要レポートの作成について</li> <li>・実習記録の書き方演習Ⅰ</li> <li>実習記録の練習をする</li> </ul>	事前学習	配属先施設について情報収集する
		事後学習	個人調書の清書を完成させる

第4回	・実習施設の概要・実習プログラム案作成の意義と方法を理解する 実習記録の書き方演習Ⅱ ：実習記録の練習をする	事前学習	実習の手引き「施設実習の目的」を確認する
		事後学習	実習施設の概要、実習プログラム案の下書きを作成する
第5回	・実習施設・機関の概要レポートを完成させ、ピアレビューを行う。 ・実習施設の概要、実習計画の作成方法を理解し、下書きを作成する	事前学習	レポートを完成させ持参する
		事後学習	レポートの追加項目について修正する 実習施設の概要、実習プログラム案の下書きを完成させる
第6回	・実習施設の概要、実習プログラム案の完成	事前学習	下書きを完成させたいうえで、実習施設について不明点を書き出す
		事後学習	実習施設の概要、プログラム案の清書を完成させる
第7回	・スーパービジョンと巡回指導の理解 ：スーパービジョンについて理解する ：巡回指導の目的と内容を理解する ：スーパーバイザーとの協議に関する説明と確認	事前学習	・テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	・実習指導者と協議したい点についてまとめる
第8回	・個人情報保護について ：実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解 ：実習中の記録等の取扱いに関する具体的な注意事項	事前学習	精神保健福祉士専門職としての個人情報保護の大切さについて書き出す
		事後学習	授業で学んだことをまとめる
第9回	・事前訪問に向けた準備 ・事前訪問の目的と意義の確認	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	事前訪問の目的と意義をまとめる
第10回	・巡回指導教員の発表 ：巡回指導教員への挨拶の意義を理解し準備する ・事前訪問に向けた準備 ：基本的態度と訪問時の注意事項の確認 ・実習コンピテンス確認テストⅡ問題配布 ・セルフアセスメントの実施	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	巡回指導教員への挨拶用紙を作成する 各自巡回指導教員へ挨拶のアポイントメントをとる 実習施設の概要及び実習プログラム(案)を実習施設に持参し、指導者と協議する
第11回	・実習コンピテンス確認テストⅡの実施 ・事前訪問の確認 ：実習施設の概要、実習プログラム案について実習指導者との検討をもとに修正する	事前学習	事前訪問報告書の作成 実習指導者と検討した点をまとめる
		事後学習	修正した実習プログラム案の清書を完成させる
第12回	・施設実習に向けての最終確認 ：事故、緊急時対応、保険、注意事項、評価、記録の提出等について ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認 ・自己評価表の理解 ：自己評価を行う意義と活用方法を理解する ：自己評価表の記入方法を理解する ・実習後の実習成果発表会、実習総括レポート(実習報告書)について説明	事前学習	施設実習で学びたいこと、事前知識を再度確認する
		事後学習	実習記録記入欄への記入、実習時持ち物、実習初日の開始時間の確認等、各自実習に備える
第13回	※第13回～第15回は、実習事後学習として実習終了後に実施	事前学習	実習総括レポートを作成し、実習成果発表会への準備をする
第14回	・実習の評価・総括(実習成果発表会) ・学習のまとめ ：施設実習における自己の課題を施設実習につなげる ・自己の成長を振り返る ・医療機関実習についての説明	事後学習	発表を聞いての感想、考察をまとめる 精神保健福祉援助実習指導Ⅱで学んだことと今後の課題をまとめる
第15回			

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習関連/実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連*おおよその目安、変動あり。
施設実習配属発表	10月初旬	第1回～第2回あたりに発表*個人調書の作成
「実習施設・機関の調査」レポート提出	11月	第4回～第5回あたり
実習コンピテンス確認テストⅡの問題配布(自主学習用)	12月下旬 冬季休講前	第10回～第11回あたり
実習コンピテンス確認テストⅡの実施	1月頭 (冬季休講明け)	冬季休講機関終了後の授業で実施 第12回～第13回あたり
見学実習(事前訪問)実施	1月中旬	第12回～第14回あたり 学生各自日程調整して実施
セルフアセスメントの実施①	授業後半実習前	実習前に実施
巡回担当教員発表・挨拶	1月～2月	第11回～第12回あたりに発表、 学生各自挨拶に行く
施設実習	2月～3月	春季休講期間に18日間以上かつ140時間以上
セルフアセスメントの実施②	施設実習終了後	実習終了後各自実施し、実習記録に閉じて提出する
施設実習事後指導	3月下旬	第13回～第15回